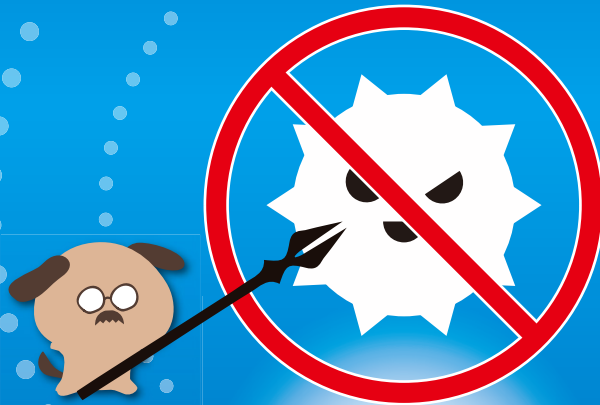


Air

抗菌・抗ウイルス室内用水性塗料

塗るだけでOK



抗菌・抗ウイルス

ゼロVOC

超低臭

消臭

抗菌 抗ウイルス

蛍光灯の明るさで菌やウイルスを
短時間で不活性化

ゼロVOC

VOC(揮発性有機化合物)を含有していない
のでシックハウス対策にもバッチリ

超低臭

においが気にならないので、病院や空港などの
24時間稼働施設やオフィスビル・ミュージアム
などの空調一括管理施設にも安心・安全

消臭

室内の嫌なにおいを吸着

★ **塗り面積(1回塗り)** ※刷毛・ローラー塗装の場合、水道水で最大3%まで薄めて下さい。

16 kg 約123㎡～145㎡

4 kg 約30㎡～36㎡(16畳から20畳)

★ **光沢** つや消し

★ **色相** 白・各色



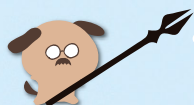
塗装できる部材

コンクリート・モルタル／ビニルクロス／木部



塗装できない部材

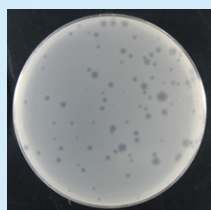
鉄部・金属部／タイル面



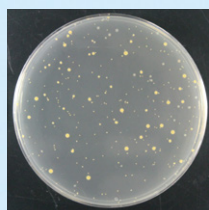
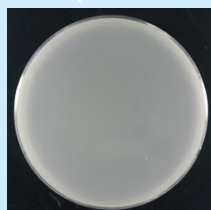
菌・ウイルスを退治!!!



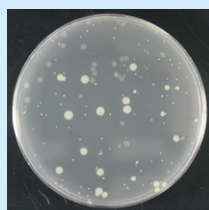
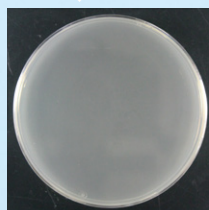
除去率	ウイルス	黄色ブドウ球菌	大腸菌
	◎ (99.99%)	◎ (99.99%)	◎ (99.99%)



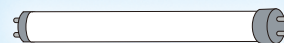
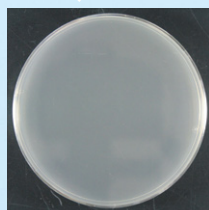
↓ **4時間**
不活性化



↓ **8時間**
不活性化



↓ **8時間**
不活性化



蛍光灯で光触媒効果!

ウイルスを4時間で **99.99%**
菌を8時間で

不活性化することができます

※LEDでも同様の効果はあります。

★ 抗ウイルス性試験

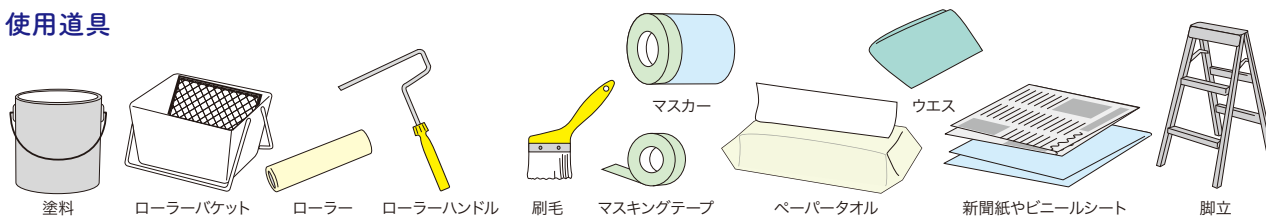
試験規格	JIS R 1756 :2020 (可視光応答形光触媒、抗ウイルス、フィルム密着法)を参考
試験ファージ	バクテリオファージQβ(ノロウイルスの代替)
光源の種類	白色蛍光灯 FL20SSW/18
照射条件	可視光 500lx 照射時間 4時間

★ 抗菌性試験

試験規格	JIS R 1752 :2020 (可視光応答形光触媒、抗菌、フィルム密着法)を参考
試験菌	黄色ブドウ球菌、大腸菌
光源の種類	白色蛍光灯 FL20SSW/18
照射条件	可視光 500lx 照射時間 8時間

塗装してみよう!!

使用道具

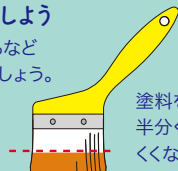


作業のポイント



窓をあけて、換気しよう

晴れた日に窓をあけるなど
しっかり換気を取りましょう。

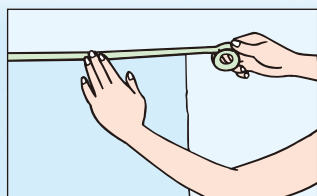


塗料を刷毛の根元まで付けしないで
半分くらいにすると、塗料がタレに
くなり作業がしやすくなります。



ハンドルまで塗料をどっぶり付けない。
ネットの上で2〜3回転がしながら全体的に含ませます。

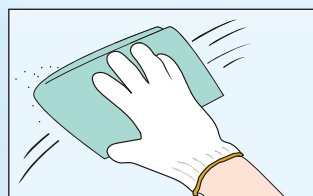
STEP 1 養生をしよう



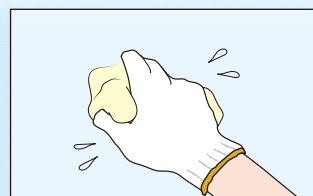
マスキングを行う

塗り分ける境目にマスキングテープを貼る。ビニールシートを敷く。
塗料が飛び散るのを防ぐためにマスキングテープ
付きビニールシート)を床に敷く。

STEP 2 塗装前に除菌をしておこう

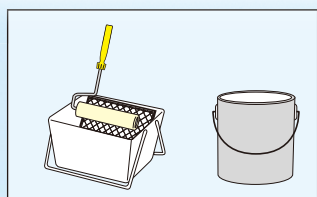


壁面を清掃し、除菌を行う



ウエスなどで表面に付着したゴミ・ホコリを取り除く。その後、塗装の前
に壁面を消毒用エタノール系又は次亜塩素酸ナトリウム系の消毒剤を
ペーパータオルなどにしみ込ませて拭き取る。

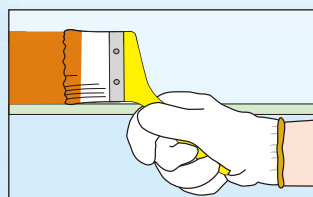
STEP 3 塗料の準備



塗料をローラーになじませる

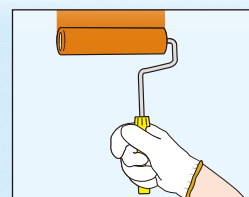
塗料をローラーバケットなどに入れ、ローラーに塗料を少しつけて、
ネット上でしごく。繰り返し行い、塗料を全体に含ませる。

STEP 4 塗装しよう



細かい部分から塗装する

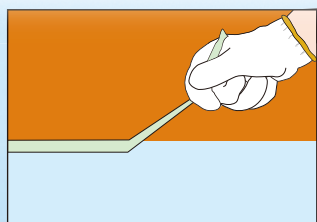
マスキングテープを貼った境目から
刷毛で塗装していく。



全体をローラーで塗装する

ローラーは上下にコロコロ転がし
ながら壁面を少しずつ移動して
塗装していく。

STEP 5 仕上げ



マスキングテープ、ビニールシートを取り除く

塗装終了後、塗料が完全に乾く前にマスキングテープ、ビニールシートを
取り除く。

後片付け

やむをえず塗料を処分する時は、新聞紙などに塗り広げ、
乾かして下さい。その後の処理方法は、各自治体の指示
(ホームページ参照)に従って下さい。
残った塗料は、よくフタを閉めてから直射日光の当たらない
場所に保管して下さい。



塗装手順は
動画でも紹介しています



塗料性状

項 目		内 容		
容姿		一液性		
荷姿		16kg、4kg		
色相		白、各色		
光沢		つや消し		
密度 (23℃)	塗料	1.20～1.55		
	揮発分	1.00		
粘度 (23℃)		80KU～95KU		
加熱残分		50～65%		
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	3時間	30分	15分
	半硬化	4時間	40分	20分
標準膜厚		20～30μm/回		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界 (下限～上限)		SDS参照		

注) 上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

標準塗装仕様 壁面

工 程		商品名	色 相	塗装方法	薄め液	薄める割合	塗り回数	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	清 掃	1. 汚れなどを、ブラシ・ホウキ・ウエスなどで乾拭きを行い、清浄な面とします。 2. 壁紙を塗装する場合は、ウエスなどを水に濡らし、よく絞った後で壁紙を拭き、汚れを落とします。(びしょびしょに濡れたウエスで拭くと、壁紙を傷める原因となりますのでご注意ください。)拭き掃除の後は、壁紙表面をよく乾かすようにして下さい。							
	除菌も行う場合	1. 消毒用エタノール系又は次亜塩素酸ナトリウム系の消毒剤をペーパータオルなどにしみ込ませて拭き取って下さい。							
上塗り		COZY PACK Air	白、各色	刷毛・ローラー	水道水	0～3%	2	0.12	2時間以上

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

関連法規

危険物表示	—
有機溶剤区分	SDS参照
有害物質表示	—
劇物表示	—

ホルムアルデヒド放散等級

(一社)日本塗料工業会 登録	
登録番号	D02467
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問合せ先 http://www.toryo.or.jp	

施工上の注意

●素地調整に関わる注意

1. 新設のコンクリートやモルタル面の養生は十分に行って下さい。含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。(コンクリートで20日以上、モルタルで15日以上経過が目安です。)
2. 油污れの著しい場合は、はがれ・割れの原因になることがありますので、中性洗剤などで十分油分を除去してから施工して下さい。
3. エマルジョン塗料以外の塗膜面に塗装する場合は、もともと付着性を確認して下さい。

●塗装に関わる注意

1. 水性塗料においては、ウエスなどで強く擦ると、色が付着する場合がありますので、強く擦られるおそれが予測される場所への塗装はできるだけ避けて下さい。
2. 常時、結露又は水がかかることが予測される部位への塗装は避けて下さい。
3. 開缶後は、よくかき混ぜて均一な状態にしてからご使用下さい。
4. 調色はマイティーカーラーゼロVOCを3%以内でご使用下さい。
5. 希釈剤(水道水)での薄め過ぎは隠ぺい不良、仕上がりがり不良などが起こりますのでご注意ください。
6. 塗装方法として刷毛とローラーが混在する場合は、塗分量・仕上がり肌が異なり若干の色相差がでますので、刷毛塗りの部分は希釈を少なめで塗装して下さい。

●保存、保管に関する注意

1. 保存上引火の心配はありませんが、極端な高温(60℃以上)や低温(－5℃以下)での保管は避けて下さい。
2. 一度使用した塗料は、容器へ戻さないで下さい。使用した塗料を容器へ戻すと塗料が腐敗することがあります。

使用上の注意

取扱いには下記の注意事項を守って下さい。 ※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
2. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
4. 捨てるときは、産業廃棄物として処分して下さい。
5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

塗装基準

項 目		内 容		
下地処理		素材表面の油分、汚れ、埃などを除去し乾燥した 清浄な面とする。 pH10以下、含水率10%以下		
調合法		－		
熟成時間		－		
可使時間		－		
塗装方法		刷毛・ローラー、スプレー		
希釈剤		水道水		
塗 装 方 法	塗装方法	刷毛・ローラー		エアレス※1
	希釈率	0～3%		5～10%
	標準使用量	0.12kg/㎡/回		0.14kg/㎡/回
	標準膜厚	20～30μm/回		
	ウエット管理膜厚	－		
塗 装 間 隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	3時間	2時間	1.5時間
	最大	－	－	－

※1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。

注) 標準使用量は実測値に基づき算出しています。また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。

DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町2-10-14 (日光堂ビル)
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-261-1
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)



地球環境への負荷軽減のために、
植物油インキを使用しています。

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-451-9470 ☎930-0997 富山市新庄北町5-1
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂/前町46-1 (大樹生命京都山科ビル)
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1 (東成ビル)
岡山営業所 ☎086-242-1850 ☎700-0953 岡山市南区西市801-2
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビル1ビル)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町3-4 (長崎ビル)

塗料相談室 フリーダイヤル 0120-98-1716 ^{いーないろ}<https://www.dnt.co.jp/>